

三二六八番

三諸の神奈備山ゆとの曇り雨は降り来ぬ
天霧らひ風さへ吹きぬ大口の真神の原ゆ
思ひつつ帰りにし人家に至りきや

反歌

三二六九番

帰りにし人を思ふとぬばたまのその夜は我
も眠も寝かねてき